



携帯フォトコンテスト5

内 容 お気に入りのデジタル写真を、データにて募集。テーマは自由。
「笑える～」「なんでこうなるの!」「美しい!素晴らしい!」
「か～わいい!」「うむむ」「見て見て!」「かほく珍百景に登録」
など、撮影にまつわるエピソードや一言コメントなど大歓迎。

賞 典 〈大賞－1名〉〈優秀賞－2名〉〈部門賞－若干名〉
※ 副賞賞品(かほく市商品券ほか)贈呈

審 査 当店スタッフ

審査基準 撮影の技術を競うものではありません。
氏名を伏せて作品を審査、独断の「いいね」が多かったものに大賞、次点に優秀賞、様々な
視点から部門賞を設定します。

応募方法 「携帯フォトコンテスト応募」と明記の上、作品(3点まで)、
お名前(紙上匿名可)、ご住所と共に、右上当店アドレスまで
メール送信お願いいたします。

※メール添付の方法など不明な方は、ご連絡を。

※携帯からダイレクトでご応募できる楽ちんQRコードはこちら↓

締 切 令和7年10月12日(日)

発 表 本通信 11月号(11月10日 発行予定)

備 考 加工・修正のない未発表のオリジナル作品



これまでの受賞作は、はまなす通信.comにてご覧頂けます

なお闇にみる蕾⑤

戦後80年 節目の年に

川柳人鶴彬の願いは今



本日9月14日は「鶴彬川柳大賞30周年記念大会」が高松産業文化センターで盛大に開催されます。その様子はおそらく次回の機関誌「はばたき」に掲載されることでしょう。顕彰する会の方々の熱意は、大会に参加されたらじかに伝わるはずですが、残念ながら地元かほく市においてもさほど広く関心を持って頂いてるとはいえない状況です。

「非力な自分に何ができるか？」

前回は折り鶴作り(記念式典で一区切りのようです)を手伝わせて頂きました。さて今後は?無理なく続けられることを考えれば、

- ・せめて鶴彬を頭の片隅においておく。
- ・我が身の安全を顧みず、伝えようとしたその願いを忘れない。

そのために

- ・顕彰する会の活動に関心を持つ。
- ・たまに会のホームページをのぞいてみる。 ⇒⇒⇒

ぐらいでしょうか。

鶴彬は若くして世を乱す政治犯として亡くなりました。戦後落ち着いた頃から、やっと地元高松でも彼を見直す動きがあり、同時代を生きた方々がその思いを残し、今の顕彰する会の方々につながっているのだと感じています。

浜防風は5回の連載で、ささやかな側面支援をさせて頂きました。形にして残すことが大事だと思ったからです。戦後80年の今年、なお闇にみる蕾を、花開かせることは難しいけれど、「ここに蕾があるね、大事にしていこう」とつぶやいて、〆とさせて頂きます。
(暁を胸に抱く 浜防風)

鶴彬を顕彰する会



《ひとことコメント募集!!》



葉書・FAX・メールにて当店まで。コメントお寄せ頂いた中から2名に、かほく市商品券を差し上げます。

締切は **9月25日(木)**

今月のお題は「祭り」。もちろんお題無視(笑)のお便りもOKです。

※なお紙面の都合による、通信掲載時の省略・抜粋などをご了解くださいませ。

読者さんからのおたより 前号お題「花火」

☑花火と言えば「少年時代」の「8月は夢花火・・・」の歌詞が頭に浮かびます。なぜか分かりませんが・・・。

(高松 MTさん)

・・・夏らしい湿度や温度を感じる名曲ですね。歌詞を正確に読み取りづらい曲なので、心に残っているのかも。

☑7月の伊勢志摩トライアスロン完走をもって、33年間、64大会に参加した大会出場を終わりにしました。「トライアスロンしまい」です♪

(中沼 TKさん)

・・・マネージャー役の奥様との二人三脚、ほんとうにお疲れさまでした。多趣味なTKさん、またおたよりお待ちしております。

北斎/広重 大浮世絵展

9/19-10/5 石川県立美術館

内覧会行って来ました。良かったです!

お時間ある方は是非是非に (麻生)



Nong's Master's Voice

還暦を過ぎたあたりから、すっかり涙腺が緩くなってしまった。

Dire Straits というバンドの曲「Brothers In Arms」の翻訳された歌詞を読んだとき。

中島美嘉の「僕が死のうと思ったのは」の歌唱をYouTube で観たとき。

映画「国宝」で、横浜流星演じる大垣俊介が糖尿病による壊死で左足を切断。その後、義足をつけて舞台上がるも、はだけた裾から覗く残された右足が壊死して黒くなっているシーン。

そして、つい先日放送された朝ドラ「あんぱん」で、主人公の”のぶ”と”崇”が勤めていた「高知新報」の東海林編集長の死をかつての同僚の手紙で知る場面。

若い頃は自分で言うのもなんですがクールを装い”お涙頂戴なんて、フンだ”と小馬鹿にしていたのが、いややは懐かしい。

強がりもできなくなった隣人でした。